第246号　令和8年（2026年）12月

鈴鹿

市議会だより

■主な内容

９月定例議会の概要 …… 2
各委員会での主な議案審査状況 …… 2
議決一覧 …… 9
一般質問 …… 10
常任委員会視察報告 …… 14

こども議会を開催

８月21日、本会議場でこども議会が開催されました。こども議員の皆さんからは、伝統産業、環境、交通安全、災害対策、子育て政策、地域の活性化、まちづくりなど、鈴鹿市をより住みやすいまちにしようとするたくさんの質問・提案が投げかけられました。











【お知らせ】ケーブルテレビ（CNS・112ch）での本会議ライブ中継は、令和８年12月定例議会をもって終了します。令和９年２月定例議会からは、YouTubeにてご覧ください。（詳しくは裏表紙へ）

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のウェブサイトをご覧ください

鈴鹿市議会　検索　https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/

■発行/鈴鹿市議会　三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号　TEL:059-382-7600 E-mail:giji@city.suzuka.lg.jp

９月定例議会の概要

令和８年度一般会計補正予算（第２号）や令和７年度一般会計決算を中心に 25議案を可決・認定・同意

９月定例議会を、８月31日から９月30日までの31日間の期間で開催しました。

まず、初日の８月31日には、市長から「令和８年度鈴鹿市一般会計補正予算（ 第２号 ）」など17件の議案の提案説明がなされ、９月８日には提出議案に対する質疑が行われました。

また、８日、９日、10日および11日には、18名の議員が一般質問を行いました。

11日には、議案17件および「義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書」など３件の請願を各委員会に付託し、16日および17日に、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の30日には、総務、地域福祉および予算決算の各常任委員会委員長から付託議案について審査結果の報告があり、２名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案17件はいずれも可決しました。

次に、請願３件について総務および文教環境の各常任委員会委員長から審査結果の報告があり、採決の結果、いずれも採択しました。続いて、委員会発議案３件の意見書案が提出され、提案説明の後、採決の結果、可決しました。

その後、市長から「鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について」など５件の議案が追加提出され、提案説明の後、質疑はなく、委員会への付託を省略し、討論はなく、採決の結果、いずれも同意することに決定しました。

最後に、11月23日までを休会とすることを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

総務委員会

９月17日（午前）　９月17日（午後）

議案第60号～議案第63号　業務委託契約の締結について

市施設のＬＥＤ照明器具の更新による利用者などへの影響は

【概　要】　市の事業活動における消費電力量および環境負荷の低減を図るとともに、令和９年末の蛍光ランプ製造等禁止に備えるためにＬＥＤ照明器具を更新する。規模が大きいことから、施設の所在地や種別などに応じて４ブロックに分割した上で、ブロックごとに施設の現地調査およびＬＥＤ照明器具の調達、取替工事などを一括して委託するもので、それぞれ令和11年３月８日までを工期とし、業務委託契約を締結しようとするもの。

質　疑　学校や地区市民センターの工事の時期はどうなるのか。

答　弁　学校は基本的に夏休み期間中に実施する。地区市民センターは業務を停止できないため、土日に対応し、貸館業務を行っている施設については、地区市民センター所長を通じて利用者と調整しながら工事を実施する。

予算決算委員会

予算・決算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細に行いました。その後、予算決算委員会の全体会において、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

9月17日（午前）　9月17日（午後）

議案第65号　令和７年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

鈴鹿市、津市、亀山市の共同通信指令業務について問う

○消防通信施設整備費　８億8,971万8,848円

質　疑　今後の通信指令事務協議会の負担金の推移は。

答　弁　令和７年度は工事関係で約８億円となっていたが、令和８年度以降は保守点検費用などを含め、年間約5,000万円で推移する見込みである。

質　疑　三重中央消防指令センターの共同運用後のトラブルや効果は。

答　弁　運用後のトラブルはなく、安定的な運用を継続している。効果としては３点挙げられ、直近隊編成システムの活用により、市境を越えて最も近い消防、救急隊を迅速に出動させる体制が強化されたこと、通報者の位置情報の正確な把握や聴取能力の向上により、的確でスピーディーな指令判断が可能となったこと、３市の消防本部の職員が日々連携を図ることで、知識共有や業務ノウハウの吸収が進み、指令員全体のスキルアップにつながっていることである。

今後は、この体制を維持、定着させることにとどまらず、さらなる災害対応力の向上や組織のレベルアップに努める。

消防署が管理する車両の詳細は

○消防車両等整備費　2,122万7,150円

質　疑　山林火災用軽四輪車および消防広報車はどのような車両か。

答　弁　山林火災用軽四輪車は軽トラックの形状をしており、林野火災などが発生した場合に資機材を積み込み消火に当たる車両である。消防広報車はワンボックスタイプで特殊災害や水難事故などで資機材を積み込み出動する車両である。



山林火災用軽四輪車



消防広報車

文教環境分科会

9月16日（午前）　9月16日（午後）

議案第55号　令和８年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）

企業版ふるさと納税寄附金の活用状況は

○企業版ふるさと納税寄附金　216万3,000円

【概　要】　鈴鹿市企業版ふるさと納税の寄附金を財源として、小中学校において、特別な支援を要する児童生徒用の機材を充実させるため、備品購入費を計上するもの。車椅子を使用している肢体不自由の児童生徒が階段の昇り降りの際に使用する車椅子用階段昇降機と弱視の児童生徒が教科書やプリントの文字を拡大し、文字を見やすくするための据置型拡大読書器を購入する予定である。

質　疑　寄附をいただいた２社の企業は。

答　弁　株式会社シモデンおよびスガワラくんレーシング株式会社である。

質　疑　寄附をした企業から使途の指定があったのか。

答　弁　両社共に特別支援教育への活用と要望があった。

議案第65号　令和７年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

建設予定のクリーンセンターについて問う

○クリーンセンター費　施設整備費　８億8,127万5,535円

質　疑　事業全体の総額はいくらか。また、令和７年度の約９億円はどのような内容に使われたか。

答　弁　建設工事が約50億1,500万円、令和９年度から令和10年度に行う解体工事が約19億1,500万円、令和６年度から令和10年度に行う５か年のモニタリング契約が約１億2,200万円、令和９年度から令和23年度に行う15か年の運営維持管理が約30億3,300万円となっている。これらを合わせた総額は、約100億8,700万円を想定している。今決算額に含まれていない追加の費用である埋設物の杭工事に関する変更金額については精査中であり、また、物価・燃料高騰に伴う物価スライドによる金額変更も合わせて、令和８年12月の定例議会にて補正予算を提案する予定である。令和７年度決算額８億4,690万1,000円については、主に地下工事およびプラント設備の購入費用に充てた。

質　疑　新施設の整備により、従来の施設と比較して処理能力、エネルギー効率、維持管理費、環境負荷などはどのように改善されるのか。

答　弁　処理能力は現施設270キロリットル／日に対し、新施設は140キロリットル／日になる。エネルギー効率は、太陽光発電設備を設置することで電力消費量を削減する。維持管理費は基本計画段階で、し尿処理方式の比較検討を行った。その中で、維持管理費が安価となる浄化槽汚泥対応型処理方式を採用した。これにより、現施設より２割減少できる見込みである。建物規模は、現施設の延べ床面積13,129.5平方メートルに対し、新施設の延べ床面積は4,007.32平方メートルで、３分の１程度になることで、環境負荷はCO_2排出量を約60％削減する予定である。

文教環境分科会

電子図書館の詳細について説明を求める

○図書館サービス推進事業費／運営・サービス事業費　617万5,240円

質　疑　電子図書館の詳細。

答　弁　電子図書館は昨年10月に開設した。図書館の貸出カードを持っていれば、スマートフォンやタブレットなどからウェブ経由で閲覧できる。電子図書館の開設・運用費用は約600万円で、その内訳として、開設に約160万円、残りはコンテンツ（紙の図書に代わる電子資料）費用である。コンテンツによりさまざまな契約形態があり、市が永続的に利用できる買い取り型や、２年間のみ閲覧可能なもの、貸出回数の上限に達すると閲覧できなくなるものがある。また、電子雑誌も約200コンテンツ利用可能である。

質　疑　現在のコンテンツ数。また、今後もコンテンツを増やしていくのか。

答　弁　開設当初は約800コンテンツであったが、現在は1,000コンテンツを超えている。今後も紙の書籍と同様、電子図書館の魅力を保つためにも、発刊されたものを加えていきたい。

地域福祉分科会

9月17日（午前）　9月17日（午後）

議案第55号　令和８年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）

１歳児配置改善に向けた私立保育所などへの支援の考えを問う

○私立保育所等１歳児配置改善支援補助　1,622万7,000円

【概　要】　保育所などにおける１歳児の保育士配置を５対１以上に改善することに加え、処遇改善等加算区分の取得や業務におけるＩＣＴの活用ができているものの、職員の平均経験年数10年未満であることを理由に、１歳児配置改善加算の対象外となる保育所などへ補助を行うもの。

質　疑　鈴鹿市として国への働きかけは行っているか。

答　弁　10年以上という平均勤務年数についての要件の改善を国へ要望している。

質　疑　県の補助がなくなったとしても、事業を継続するのか。

答　弁　三重県の補助金は、新規拡充について３年間という規定がある。国へ要望している平均勤務年数の要件が解消されず、また県の補助金がなくなった場合は、市で事業を継続することを検討したい。

質　疑　ＩＣＴを活用していない園への働きかけは。

答　弁　以前から私立は、補助金を活用してＩＣＴを導入している。導入していない園は、ＩＣＴを活用しないと加算がないことはお伝えして、理解いただいている。

議案第65号　令和７年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

産後ケアへの支援の状況は

○産後ケア事業委託　1,401万8,300円

質　疑　産後ケア事業の利用実績の内訳は。

答　弁　希望者全員が１人７回まで利用できる制度で、令和７年度の延べ件数は842件である。なお、内訳は宿泊型は96件、通所型は272件、訪問型は474件となっている。実人数は266人で、宿泊型は33人、通所型は98人、訪問型は170人である。



質　疑　部屋料金などの施設による料金差への対応は。

答　弁　本市の利用料は、国の減免措置を適用し他市町より安く、使いやすい状況である。施設によっては部屋代が必要となるが、料金設定は施設の経営方針による。

三重県では、県内市町において共通料金で同じサービスを受けられる集合契約に向けた調整をしており、その動向を注視していく。

市内の医療体制の整備について問う

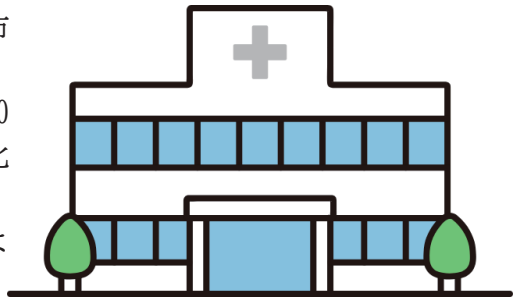
○公的病院施設設備整備費補助　１億9,600万円

質　疑　事業の成果と執行するに当たっての協議は。

答　弁　２次救急の当番日数によって、医療機器の整備に対し1/3の補助を行う事業で、鈴鹿中央病院は、がん拠点病院の役割も担っていることから、がん治療に必要な医療機器の整備について補助しており、令和７年度にリニアック(※)、今年度はダヴィンチ(※)導入に対し、それぞれ1/3を補助している。これらにより、がん治療を市内で完結できる体制につながった。

一方、鈴鹿回生病院では、本事業の5,000万円を上限に、各種検査機器の更新やＤＸ化に伴う機器整備などが行われている。

今後も市内で必要な医療が完結できるよう、検討していきたい。



※リニアック・・・放射線治療に使う医療機器で、高エネルギーのＸ線や電子線を発生させ、がん細胞に照射して治療する。
ダヴィンチ・・・外科医が遠隔操作でロボットアームを動かし、精密な手術を行うシステムで、傷が小さく、術後の早期回復が期待できる。

産業建設分科会

９月16日

議案第55号　令和８年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）

市内ものづくり企業への支援策について問う

○物価高騰対策ものづくり企業等支援事業費　5,502万9,000円

【概　要】　原油価格・物価高騰の影響を受けている市内ものづくり企業などの負担軽減をはかるために、事業継続に必要なエネルギー関連経費を一部支援する。令和８年４月から令和８年９月までの１カ月単位のエネルギー関連経費のうち、いずれかの任意の同一種類のエネルギー関連経費が10万円以上の場合で、エネルギー経費の金額によって、段階的に支援するもの。

質　疑　経費の内訳において人件費が計上されているが、人件費が発生する理由は。

答　弁　本事業における申請受付や支払事務などの補助的業務を行うため、パート職員１名を配置している。

質　疑　中小企業など（ものづくり企業）が、経費ごとに想定数がきっちりと出ているが、どのような区分けでしているのか。

答　弁　本事業は、中小・小規模製造業および物流業の事業者を対象とした第４弾の実施となる。過去３回の申請実績を基に想定した対象社数をあげている。

質　疑　本事業は「手上げ（申請）方式」で、申請があって初めて対応するという形か。

答　弁　申請主義となるが、事前に支援策を行う旨を周知・アナウンスしている。

議案第65号　令和７年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

本市のふるさと納税は

○すずか応援寄附金推進費　３億2,452万7,926円

質　疑　ふるさと納税寄附額の収支関係はどうなっているのか。

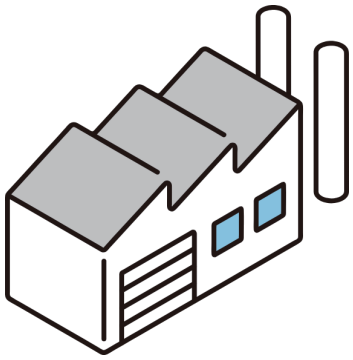
答　弁　令和７年度の寄附総額６億6,418万6,000円に対し、経費率は49％となっている。内訳は、返礼品費29.6％、中間事業者への委託料14.9％、配送費4.2％、その他手数料0.3％である。

産業建設分科会

本市への企業立地に向けた取り組みは

○企業立地推進事業費　２億3,201万5,561円

質　疑　企業訪問の実績が見込みを大きく上回っているが、工場などの居抜き物件について、企業の動向やニーズ、課題をどのように把握しているか。



答　弁　宅建業者と連携した物件情報の収集・マッチングに加え、一般市民からも工場・倉庫などの情報を募ることについての検討を行うなど、官民一体となって情報収集の強化を図り、企業ニーズへの迅速な対応を進める。

水道事業の今後の経営について問う

○水道事業の企業債／償還金　９億1,290万4,257円

質　疑　企業債償還と老朽化施設の更新投資が今後の経営に与える影響は。

答　弁　現在策定中の鈴鹿市上下水道事業経営戦略における重要な課題であり、現状のままでは令和12年度頃に経常的な収支を賄えなくなる見込みである。今後、経営努力や見直しを進めるとともに、企業債残高を増やして将来世代に負担を先送りすることのないよう、企業債償還と更新投資のバランスを考慮しながら検討していく。

討論（要旨）

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

＜議案第55号～議案第71号について＞

諸　派（日本共産党）　石田　秀三 議員

議案第65号・議案第66号に反対　その他議案は賛成

生活保護での自動車保有をめぐる裁判で、鈴鹿市は２件とも敗訴となった。このことを真剣に反省し意識改革することを求める。また、国保料は基金を活用すれば、引き上げる必要はなかったのではないか。

市民の声　中西　大輔 議員

全議案に賛成

議案65号一般会計決算の認定に当たり令和４年度から経常収支比率悪化を指摘し続けている。予算編成に当たり経常的支出の見直し、行財政改革の必要がある。市長以下、現体制に責任ある取り組みを求め賛成。

議決一覧（９月定例議会）

【全会一致で可決・認定・同意した議案など】

議案番号など	件　　名
議案第55号	令和８年度鈴鹿市一般会計補正予算（第２号）
議案第56号	鈴鹿市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第57号	鈴鹿市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第58号	鈴鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第59号	鈴鹿市火災予防条例の一部改正について
議案第60号	業務委託契約の締結について
議案第61号	業務委託契約の締結について
議案第62号	業務委託契約の締結について
議案第63号	業務委託契約の締結について
議案第64号	財産の取得について
議案第67号	令和７年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について
議案第68号	令和７年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について
議案第69号	令和７年度鈴鹿市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
議案第70号	令和７年度鈴鹿市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議案第71号	令和７年度鈴鹿市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議案第72号	鈴鹿市公平委員会委員の選任同意について
議案第73号	人権擁護委員候補者の推薦同意について
議案第74号	人権擁護委員候補者の推薦同意について
議案第75号	人権擁護委員候補者の推薦同意について
議案第76号	人権擁護委員候補者の推薦同意について

【賛成多数で可決・認定した議案など（表決が分かれた議案など）】

議案番号など	件　　名
議案第65号	令和７年度鈴鹿市一般会計決算の認定について
議案第66号	令和７年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

委員会発議案第２号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
委員会発議案第３号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
委員会発議案第４号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書

（次ページに続く）

（前ページから続く）

議案番号など	件　　名
請願第１号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書
請願第２号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書
請願第３号	自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求める請願

※ 可決した３件の意見書は、国会および国の関係省庁に提出しました。なお、提出した意見書は、市議会ウェブサイトにて閲覧できます。

【表決が分かれた議案などに対する各議員別の賛否状況　○：賛成　×：反対】

※会派名のうち、鈴和および日本共産党は諸派です。
※議長　野間芳実は原則として採決に加わりません。
※桐生常朗議員は、10月28日付けで辞職となりました。

会派名	新緑風会							自由民主党鈴鹿市議団					市民の声					公明党			鈴和		日本共産党		無所属	
議員名	山中智博	大杉吉包	水谷進	山口善之	河尻浩一	加藤公友	松葉谷光由	森雅之	野間芳実	森喜代造	宮木健	太田龍三	中西大輔	市川哲夫	薮田啓介	市川昇	藤井栄治	藤浪清司	池上茂樹	船間涼子	田中通	南条雄士	高橋さつき	石田秀三	桐生常朗	矢田真佐美
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
委員会発議案２号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委員会発議案３号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
委員会発議案４号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第１号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第２号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
請願第３号	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をただすものです。

公　明　党　藤浪　清司 議員

公共施設設備の更新維持管理について

（質問）今年度夏の市役所本館空調設備不具合の反省を踏まえ、本庁舎以外の施設も含めて空調設備機器等の更新計画を作成し、計画的な予算措置を行うべきと考えるがいかがか。

（答弁）大規模な公共施設で採用する集中管理方式の空調設備については、計画的な維持管理による予防保全的取組が必要と考える。個別施設計画の次期改定において、空調設備の更新時期を明記することを前提に適切な更新計画の策定に努め、財源確保も十分に検討し、計画に沿って予算化できるよう努める。

その他の質問 ○平和教育

新緑風会　水谷　進 議員

安心して暮らせる終活支援について

（質問）「終活情報登録事業」の開始に至った経緯について。

（答弁）身寄りのない高齢者が直面する課題の背景には、いざというときに本人の意思や希望が確認できず医療方針の決定や死後の手続きにおいて関係者が対応に苦慮するという構造的な問題がある。こうした課題を解決し、人生の最終段階においても本人の意思が適切に尊重される仕組み作りが急務であるとの認識から、本市においてもこれまでの地域ケア推進会議での議論を踏まえ、今年度中に終活情報登録事業を開始する予定である。

自由民主党鈴鹿市議団　森　雅之 議員

水道事業及び下水道事業の今後の見通しについて

（質問）水道料金・下水道料金改定について伺う。

（答弁）水道使用料の料金算定期間は、料金の安定性、期間的負担の公平、原価把握の妥当性および水道事業者の経営の健全化など、さまざまな要素を考慮し、算定時より、おおむね３年から５年を基準に設定しなければならないとされている。下水道使用料の料金算定期間についても法令による規定はないが、公共料金の安定性などから水道事業と同様であることが望ましいと考え、５年ごとに見直しの必要性を検討している。

新緑風会　河尻　浩一 議員

こどもの福祉の現状と課題

（質問）①本市における児童虐待の件数について、②総合支援コーディネーターや心理士などの増員と採用について問う。

（答弁）①受付件数は、過去３年では年間300件前後を推移しており、令和７年度は前年度から減少した。一方で、支援や見守りなどの対応件数は増加している。②総合支援コーディネーターの増員により、より多くの支援が期待できる一方で、職員を含めた実施体制の検討が必要である。切れ目のない支援、教育と福祉の連携強化に心理士は不可欠であり、今後慎重に検討を進める。

自由民主党鈴鹿市議団　宮木　健 議員

こどもの居場所づくりについて

（質問）公設のこどもの居場所について、白子にある子育て応援館が令和10年以降除却・譲渡としているが、立地的に公共交通に隣接した場所であることから、遊べる図書館と複合化した子育て拠点にできないか。

（答弁）子育て応援館については、公民館等周辺施設の集約・複合化を含めて施設の利活用を希望する事業者の有無を確認するため、サウンディング型市場調査を実施したところであり、引き続き民間事業者との対話を重ねることにより利活用の検討を進める。

その他の質問 ○公共交通の取り組み

市民の声　中西　大輔 議員

資産と財政マネジメントについて

（質問）財政調整基金と公共施設整備保全基金の役割を明確に分け、データに基づいて必要額を設定し、計画的に積み立てて運用してはどうか。公共建築物、インフラ、物品を資産として、財政面も含め一体的なマネジメント計画を策定してはどうか。

（答弁）財政調整基金は令和９年度末残高80億円を目標。公共施設整備保全基金残高は十分でない認識だが、施設整備に関する財源確保に努めた上で、収支の調整は財政調整基金を活用する。物品については、各年度の予算編成過程で調整していく。

市民の声　薮田　啓介 議員

学校教育と生成ＡＩについて

（質問）学校教育の中での生成ＡＩ利用について本市は先進的に取り組んでおり、生成ＡＩを活用できるこどもを育てることも重要であると考えるが、生成ＡＩの間違いや意見誘導などにはどのような対応をし、こどもたちのシチズンシップをどのように育てていくのか。

（答弁）生成ＡＩは答えを得る道具ではなく、自分の考えを深めるために活用する。ＡＩの回答をうのみにせず、情報の正確性を確かめ、多様な考えに触れながら自ら考えて判断し、自律して行動する力を育てていく。

その他の質問 ○生活保護行政の自立支援

無所属　矢田　真佐美 議員

教職員の働き方について

（質問）小学校学級担任が下校後まで休憩を取れていない現状の解決について問う。

（答弁）労働基準法では労働時間が６時間を超える場合、45分の休憩をとることが義務付けられているが、小学校教員は、給食時間に給食指導を行ったり、児童の体調観察安全確保の対応を行ったりする必要があるため、児童下校後に休憩を取ることが常態化している。教科担任制など教職員の働き方改革を進めることで学級担任が適切に休憩を取得し、心身の健康を維持できる体制を整える努力をする。

その他の質問 ○自転車に関連する交通事故

公　明　党　池上　茂樹 議員

空き家対策について

（質問）近年の人口減少や高齢化などで空き家の増加が懸念される。空き家が適正に管理されないまま放置されると、建物の老朽化で倒壊の危険など、周辺住民の生活環境に影響を及ぼす。空き家の現状と特定空家等の件数は。また、空き家発生を予防する「住まいのエンディングノート」を作成し配布してはどうか。

（答弁）空き家は令和７年度末時点で1,693件、特定空家等は34件ある。住まいのエンディングノートを積極的に配布・活用し、さらなる啓発に努める。

その他の質問 ○障がい者支援の拡充

市民の声　藤井　栄治 議員

電子投票の導入について

（質問）全国で導入・検討が進む電子投票は、紙投票に比べ、約３回のクリックで投票できるなど簡便で、開票時間の短縮や誤記による無効票の削減が期待される。高齢者や障がいのある方など、誰もが投票しやすい選挙制度の実現に向け、来年春の統一地方選挙から鈴鹿市でも電子投票を導入すべきではないか。

（答弁）国の動向や先進事例について、成果や課題の情報収集を行っている段階であり、来年春の実施は困難である。

その他の質問 ○小中学校における女性管理職の登用

新緑風会　大杉　吉包 議員

企業誘致の進捗状況について

（質問）現在国府町においてプリマ鈴鹿国府工業団地という大規模な工業団地造成工事が進んでおり、規模や区画数、工事の進捗状況、企業からの引き合い状況を問う。

（答弁）プリマ鈴鹿国府工業団地は、三重交通Ｇスポーツの杜鈴鹿（県営鈴鹿スポーツガーデン）の北側において、株式会社イケダエステートが手掛ける約19.3ヘクタールの工業団地で９区画を有し、令和10年春頃の工事完了が予定されている。多くの物流業や製造業などから購入の意向が示されている。

その他の質問 ○農業問題

新緑風会　松葉谷　光由 議員

本市の人口減少対策について

（質問）企業誘致における情報発信について、企業誘致を雇用創出だけでなく、従業員やその家族の移住・定住につなげる視点が重要である。住宅、子育て、教育、優良田園住宅制度など、「働くこと」と「暮らすこと」を一体的に発信することについて伺う。

（答弁）「住みやすさ」「育てやすさ」「働きやすさ」を企業誘致ＰＲ動画などで発信している。移住・定住促進は人口減少対策の大きな柱であり、優良田園住宅制度を含む移住定住施策についても積極的な情報提供に努める。

公　明　党　船間　涼子 議員

母子保健体制と循環型施策の拡充

（質問）本市の産後ケア事業は、通所・訪問利用の件数が増加しているが、宿泊型のニーズの高まりに十分対応できていない可能性がある。現状の課題と今後の対応を伺う。

（答弁）令和７年度は、宿泊型96件、通所型272件、訪問型474件で延べ842件の利用である。現在三重県では、県内どこの市町に里帰りしても産後ケアを受けることができる集合契約に向けて調査を開始し、各団体と調整に入ると聞き及んでいる。利用者の利便性や、安心安全な子育て環境、より良い提供体制の整備に努める。

諸派（日本共産党）　高橋　さつき 議員

ジェンダーの視点から見る災害対応

（質問）災害時には避難所などで性暴力のリスクが高まる。防災計画に性暴力防止を記載することや、避難所チェックシートなどを活用し平常時から全段階で具体的なジェンダー視点を反映させることで、見えない被害を防ぎ、誰にとっても安全な避難所環境づくりを求める。

（答弁）防災会議の女性比率はおおむね４割で、現行防災計画は女性の意見を反映して多様な避難者に配慮されているため、避難所運営に着実につなげることが重要である。

その他の質問 ○自衛隊への個人情報提供　○生活保護の追加給付

市民の声　市川　昇 議員

鈴鹿市の歴史について

（質問）令和３年度より河曲地区の国分町にある「富士山１号墳」の発掘調査が行われ、全国でも数例のかぶとが出土され注目されているが①調査の経緯、②現状、③今後の取り組みについてお聞きしたい。

（答弁）①地元地域づくり協議会および自治会の協力もあり調査を実施した。②数々の遺構、遺物が出土し専門機関に委託し分析・保存処理を行っている。③令和９年度まで発掘調査を行いその中で歴史的価値を明らかにし地域住民、専門家、関係団体などと連携しながら調査、保存、活用に努める。

市民の声　市川　哲夫 議員

学校再編について

（質問）令和14年度に開校予定の義務教育学校の学校区に稲生小学校は含まれるのか。また、特認校制度についての考えは。

（答弁）義務教育学校の通学区域は、栄小学校区と天栄小学校区を想定している。現在の天栄中では、通学区域の弾力化制度を利用して稲生小からも進学しているが、白子中が適正規模校になる見込みのため、稲生小からの進学を令和11年度の入学を最後に終了する。義務教育学校は、市内全域から就学が可能となる特認校制度の導入を想定している。

その他の質問 ○緑地公園の利用

諸派（日本共産党）　石田　秀三 議員

市立図書館の今後の計画について

（質問）本年度に図書館再整備に向けた基礎調査が行われるが、検討するなら全国の公共図書館の現在の水準に追いつく目標を持ち、本館に加えて分館を設置する、図書購入予算の充実など、市全域へのサービスの充実を課題とする計画にされたい。

（答弁）この調査は、本市の図書館サービスの現状を把握し、今後の在り方を検討するものである。市内全域に図書館サービスを充実することは重要であると認識し、本市にふさわしい図書館になるよう取り組みたい。

その他の質問 ○国民健康保険

諸派（鈴　和）　田中　通 議員

総合治水と生活排水の部局間連携について

（質問）農業用水路のパイプライン化に伴い、開水路の埋め戻しなどで雨水や生活排水の行き場が失われ浸水被害が発生している。関係部局が事前協議を重ね、現場の流下能力を確保する連携体制を求めるが、市の見解は。

（答弁）農政・河川・道路などの関係部局が連携し、既設水路が有する雨水や雑排水の利用状況を整理した上で地域の排水機能に支障が生じないよう検討している。また雑排水路や道路側溝として用水路を残す継続利用も含め検討している。今後も適切に取り組む。

その他の質問 ○ＡＩを前提とした行政プロセスの再設計

議員研修会を開催しました

９月 28 日に、弁護士で鈴鹿市の特定任期付き職員である光永圭佑参事を講師に、昨年度に引き続きハラスメントをテーマとしたご講演をいただきました。昨年度はハラスメントの概要を学びましたが、今回は特にパワーハラスメントについて、他市の実際のケースに基づく事例検討の時間を設けた参加型のスタイルで実施され、より認識を深めることができました。



議員研修会の様子

常任委員会の行政視察報告

各常任委員会では、本年度の所管事務調査事項について先進的な取り組みを実施している自治体への行政視察を行いました。本市の取り組みに生かすため、行政視察で調査した内容を含め、今後さらに協議をし、各常任委員会で意見を取りまとめた上で、市長に提言を行います。

総務委員会　7月22日～24日

○香川県高松市「シティプロモーションについて」

高松市は、若年層の県外流出や人口減少という課題を克服するため、令和６年に専門部署を新設し、組織横断的なシティプロモーションを推進しています。高松（ＴＡＫＡＭＡＴＳＵ）の頭文字をとったロゴマーク「ＴＫＭＴ」を軸に、民間企業との多彩なコラボ、学校教育と連携したシビックプライドの醸成、ＳＮＳ戦略、インフルエンサーの活用など発信を強化しています。今後は、市民への一層の浸透とシビックプライドの醸成が図られます。

高松市の積極的なＰＲ姿勢、市民参加型のロゴ活用や学校教育との連携によるシビックプライドの醸成、インフルエンサーやＳＮＳを活用した戦略的な情報発信などの取り組みが参考になりました。



香川県高松市

○その他の視察先と視察目的

京都府向日市「投票率の向上について」
福岡県北九州市「公共施設マネジメントについて」

文教環境委員会　7月28日～30日

○栃木県宇都宮市「教育と福祉の途切れのない支援体制の充実について」

宇都宮市は、幼少期から就労期まで途切れのない発達支援体制を構築しており、子ども発達センターは多職種112名体制で、相談・診療・療育を一貫提供しています。福祉と教育の連携ハブとなるのが「つながるファイル」で、保護者主体で情報共有に活用されています。また、令和８年度より、小中学校で作成される個別の支援計画はクラウド上でのシステム管理に移行することで、引き継ぎの迅速化が図られています。

教育と福祉が一体となり、情報の相互共有と意思疎通を図り、途切れのない連携体制を構築しており、参考になる点が多くありました。



栃木県宇都宮市

○その他の視察先と視察目的

静岡県伊東市「小学校の統合について」
神奈川県秦野市「部活動の地域展開について」

地域福祉委員会　7月28日～30日

○広島県呉市「健康寿命延伸の取り組みについて」

呉市では、国保財政の健全化と市民の生活の質向上を目指し、全国に先駆けてレセプトデータのデータベース化を行い、医療費適正化と健康増進を両立させるため、データ分析に基づくアプローチを展開しています。ジェネリック医薬品利用促進通知による大幅な薬剤費の削減、重複受診･頻回受診者に対する個別訪問指導、生活習慣病放置者フォローなどを行うほか、骨粗しょう症重症化予防や糖尿病性腎症重症化予防など、データ分析に基づいたピンポイントな重症化予防の取り組みを推進しています。

本市においても、特定健診の受診率向上の取り組みや医療費を増大させないためのデータに基づくヘルスケア施策を推進する体制が重要であるため、呉市の医療費・介護給付費双方の抑制に直結する取り組みは、今後の施策展開においても非常に参考となる内容でした。



広島県呉市

○その他の視察先と視察目的

愛知県名古屋市「トワイライトスクールについて」
愛知県豊川市「自治会業務のデジタル化について」
岡山県新見市「市民センター窓口業務の郵便局委託について」

産業建設委員会　7月27日～29日

○岐阜県恵那市、静岡県小山町「モータースポーツを生かした地域活性化について」

恵那市では、専門部署を中心に部局横断的な体制を構築するとともに、民間団体や地域実行委員会と連携しています。また、ラリーが複数自治体にまたがることから、豊田市をはじめとする周辺自治体とも連携し、地域全体でモータースポーツを盛り上げています。さらに、公式ロゴなどの使用に制約がある中、市独自のロゴを作成して地元事業者に活用してもらうことで、商品開発や販売につなげています。

小山町では、富士スピードウェイを単なるレース施設ではなく、観光･商業･農業･産業･雇用･定住につなげる地域資源として活用しています。特に、地場産品の販売、温泉への誘導、閑散期のイベント開催など、サーキットの集客力を地域へ波及させる取り組みについては参考になる点がありました。



岐阜県恵那市

○その他の視察先と視察目的

茨城県常総市「アグリサイエンスバレー常総について」

議会を傍聴しませんか

議会にお越しください

●傍聴の手続き方法

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります（締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。）。

なお、会議の開催予定は、市議会ウェブサイトや市役所掲示板などでお知らせします。

●音声を聞き取りにくい方に



議場の傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドホンを貸し出していますので、議会事務局へお申し付けください。

また、手話通訳や要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局へご相談ください。

お知らせ

●ケーブルテレビ（CNS・112ch）での本会議ライブ中継は、12月定例議会をもって終了します。

・令和９年２月定例議会からは、YouTubeにてご覧ください。YouTubeは鈴鹿市議会のウェブサイト（右のＱＲコード）からご覧いただけます。

議会に来られなくても…

●本会議をライブ中継しています

本会議の様子をケーブルテレビ（CNS・112ch）とYouTubeでライブ中継しています。放送時間は午前10時（開会時間）から会議の終了までです。

●委員会などをライブ中継しています

委員会などの様子をYouTubeでライブ中継しています。ライブ中継の対象会議は、常任委員会・特別委員会・全員協議会です。

●録画映像も配信しています

ライブ中継した本会議や委員会などの録画映像をYouTubeで配信しています。

※録画映像のアップロードには数日を要します。

●会議録でもっと詳しく

会議内容の詳細は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所本館14階の議会図書室と４階の情報公開コーナーで閲覧ができます。また、市議会ウェブサイトでも公開しています。

※9月定例議会の会議録は、11月下旬に配置予定です。

YouTubeでのライブ中継と録画映像は、市議会ウェブサイトからご覧いただけます

12月定例議会の会議日程

（注）日程は変更になる場合があります。

11月	24日	火	10:00	**本会議（提案説明）**
	25日	水	10:00	議会運営委員会
12月	**２日**	**水**	**10:00**	**本会議（質疑・一般質問）**
	３日	**木**	**10:00**	**本会議（一般質問）**
	４日	**金**	**10:00**	**本会議（一般質問）**
				議会運営委員会（本会議終了後）
				各派代表者会議（議会運営委員会終了後）
	７日	**月**	**10:00**	**本会議（一般質問・追加議案等・委員会付託）**
				予算決算委員会（本会議終了後）
	８日	火	10:00	一般質問予備日※
	10日	木	10:00	文教環境委員会（分科会）
				産業建設委員会（分科会）
12月	11日	金	10:00	総務委員会（分科会）
				地域福祉委員会（分科会）
	14日	月	10:00	常任委員会予備日※
	15日	火	10:00	常任委員会予備日※
	16日	水	10:00	予算決算委員会
				各派代表者会議（予算決算委員会終了後）
				広報広聴会議（各派代表者会議終了後）
	18日	金	10:00	議会運営委員会
	21日	**月**	**10:00**	**本会議（委員長報告・討論・採決）**
				全員協議会（本会議終了後）

※一般質問通告の状況により、また、常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。

皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局
〒513-8701　鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL：059-382-7600　FAX：059-382-4876
E-mail：giji@city.suzuka.lg.jp

ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。